

# “ふじのくに”<sup>しみん</sup>士民協働 事業レビュー結果

(教育委員会)

|    |    |     |             |
|----|----|-----|-------------|
| 事業 | 12 | 事業名 | 人権教育総合推進事業費 |
|----|----|-----|-------------|

## 1 基本情報

|        |          |     |             |
|--------|----------|-----|-------------|
| 実施日／班名 | 9月7日 第1班 | 時間  | 15:45~16:37 |
| 担当課名   | 教育政策課    | 事業費 | 2,018 千円    |

## 2 レビューの結果 施策目的に対する効果の程度

| 結果 | 一定の効果がある | 判定区分 | 県民評価者の内訳 |    |
|----|----------|------|----------|----|
|    |          |      | 大きな効果がある | 8  |
|    |          |      | 一定の効果がある | 17 |
|    |          |      | あまり効果がない | 9  |

## 3 県民評価者の意見(レビューシートから転記、下線があるのは口頭で発表された意見)

### (1)見直し・改善策

|              |   |
|--------------|---|
| <b>目的・指標</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における「いじめ」がなかなかなくなる現状、もっと力を入れるべきで、校内研修の実施は早急 100%にすべきです。また、いじめ発生件数も含め成果指標とすべきです。</li> <li>・資料 (アウトカムに) にいじめなどの現状数値を入れてほしい。</li> <li>・人権感覚の育成は何よりも大切だと思うので、100%の校内研修実施目標を立てるべきという意見に賛成です。</li> <li>・人権教育の勉強や推進はよいが、この人がこの様に変化があったとか、実績の評価が分からない。</li> <li>・研修後の人権教育の広がりをチェック・確認する方法を考えてください。</li> <li>・研修会のアンケートで満足度は高いのが当然であり、それが (研修が) 現場で実際に (具体的に) 反映されているかを調査してほしい。</li> <li>・この複雑な社会、何より尊重されるべき人権、専門委員の方々の意見どおりです。最優先な事です。100%へ押して押して押しまくるべきです。</li> <li>・活動指標は 100%を目指すこと。(上意下達で)</li> <li>・確かに活動指標は 100%を目指すべきですね。</li> <li>・人権教育を推進する指導者のために研修を行うこの事業の効果は、なかなか難しいものである。成果指標で「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合では評価の指標にはならない。人権侵害に関わる出来事が減ったなどの方が、効果が分かります。</li> <li>・人権教育に関する校内研修を実施した学校の割合の H26 の見込みが 90.0 以上となっているが、これを 100 にするべきという専門委員の方からの指摘があったように、職務命令という形で、徹底して行っていくべきだと感じた。</li> </ul> |
| <b>対象・範囲</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権」の範囲をどこまでと据えるか。第一印象は、素直に、対象は誰なのかということでした。自他の人権を大切に作る態度や行動力を育成されるのは誰なのか。教師止まりだと意味がないです。</li> </ul>  |

- ・各学校任せにしている部分を多く感じた。学校に投げて、それがどうなったのか、しっかり把握すべき。
- ・各学校の担当者、または教員の誰が研修を受けたか確認し、最終的には教員の全員が受ける研修にしたほうがいいのではないのでしょうか。
- ・いじめ、教員の問題、人数に対して徹底的に研修内容、頻度を増やし、それに対する効果分析をすべき。
- ・効果が見えにくい事業。

## 人権教育は

子供に対しては…いじめ、先生に対する暴言・暴力

保護者に対しては…先生に対するハラスメント（モンスターペアレント）

先生に対しては…「いじめ」の芽・兆候を早期に掴むことが重要であり

これらに対する具体的事業をすべきです。

- ・学校の授業では「道徳」をやっていると思うので、「道徳」の授業の中で、資料や DVD を活用していくように促すべき。
- ・教師が研修に行って学校で伝えるより、担当者が学校へ講演にまわってもらいたい。
- ・地域や家庭への啓発ってとても難しいと思うのですが、家庭内で子供の人権が守られているのでしょうか。学校—地域—家庭の連携事業を工夫してもらいたい。
- ・先生方も人権意識が薄いのですね。研修しても高まらないのは、研修の方法を見直さねばならないのではないのでしょうか。講演会でたくさんの方が聞くだけではなくて。
- ・指導資料を配布したと書かれているが、配布された資料が現場でどう生かされているかも確認することが必要ではないのでしょうか。読み合わせしたとか結果が分かるように。
- ・先生と生徒の向き合う時間の確保だと考える。人権問題について話し合った、DVD を観る時間を持ったことの結果を確認してはどうか。
- ・PR 項目が確実に現場で実施されていることを確認する。
- ・例では、指導資料の活用率は半数以下ということや、「自分にはよいところがある」と思わない生徒が3割弱もいるという一連の話を聞いていると、予算が足りないのではないかと。びっくりした。
- ・限られた予算の中では限られたことしかできないので、予算をもっと取ったほうがよいのではないですか。マイナス評価としての「効果が中くらい」ではなく、もっと積極的に動いてほしいという意味での前向きな評価です。
- ・子どもたちに、人権に関する分かりやすい DVD などを積極的に観せるべきです。（つらい思いをしている子、弱い立場の子の気持ちをわかってもらえるような）
- ・人権教育指導者研修会をより多くの人に知ってもらいたい。一般の人、民間の人でも参加できるようにして、興味を持っていただきたい。
- ・広報は、繰り返し執拗に行ってほしい。
- ・乳幼児教育の段階にも手厚く施策が及ぶようにしてほしい。
- ・子供達に見せる用の DVD を配布し、全員に見てもらい教育する事も必要。（先生用だけでなく）
- ・子供だけでなく大人も（大人こそが）人権教育が必要。
- ・教育委員会のみでなく、県政全体で広く市民に向けて推進する必要があります。県広報等（TV の CM など）でも PR してください。
- ・とにかく発信することが大切で、「こういう事業を県のここでやっています」ともっとアピールする。
- ・人権教育研修の実施校、教育委員会として受講者の名前まで把握すべきである。
- ・人権教育について、具体的な問題解決を進めるための方法を示したほうがいい。
- ・人権教育を担当できる人材を育成することは大切な事業です。その成果を踏まえて、児童生徒に対しても教科のひとつとして取り入れるべきだと思います。道徳教育・倫理教育を担当できる人材育成の重要性を考えます。期待を込めて「高」にしました。
- ・教育現場は極めて倫理性、道徳性を求められ、それを児童・生徒に対してしっかりと指導できる人材をしっかりと養成していただきたい。

- ・児童・生徒は先生方の行動を極めて素直な目で見ています。先生方の行動規範について、倫理・道徳を組み込んだものを各学校へ配布して、職員室で誰にでも目に付くところに表示し、毎朝唱和するぐらいのものを検討されたいと思います。川勝知事に作成、検討を期待します。
- ・成果指標である「生徒の85%は学校が楽しい」から、人権教育が推進され、生徒が自分や他人の価値を認めることが出来たと思われるが、問題は約15%の楽しくない生徒の要因の究明で、これが大事である。いじめ、不登校等のあまり声をあげられない声なき声を聞き取る指導者の育成を望む。
- ・人権教育は教科と違って漠然としたものであるもので、少しでも具体性を求めることが大切だと思った。指導教員に対して、「すぐ手に届く、読める」といったことで求めるのは、忙しい学校教員には少し無理があるのではないかと。「嫌でも目に付く」というレベルのものでないと、人の心に残っていかないのでは、ポスターなどをもっと活用するとよい。
- ・本やDVDはあまりにも利用数が少なく、無駄になっているのではないかと。
- ・担当課の方々の熱意や思いは大変評価されることだが、その熱意や思いが教職員まで伝わりきれていないと思われる。実現に向けて他の施策を組むなど工夫して取り組んでほしい。
- ・アンケートは慎重に行うべきだと思いました。
- ・施策の方向、目的はとても必要なことです。人権教育は小さい時から継続的に教育していくことが大切で、人権教育担当者のみではなく、子供を相手の授業の中に、人権教育の時間を増やすことが必要です。
- ・学校PTAにいますが、このような事業、DVDのことを知りませんでした。より広めていただきたい。
- ・人権教育の研修の後の、各学校での取組、それによる変化などの報告を具体的に求め、より人権感覚を高め、知識を広める必要がある。
- ・現場の学校で、いじめや差別がたくさんある。現状で人権教育はとても大事である。上の方だけでなく、もっとすそ野にまで100%行きわたるように努力してほしい。これはとても大事な事なのに、机上の空論だけで終わっている気がする。
- ・現場を知ること、現状把握は大変だが、しなければいけない。
- ・研修ばかりのような気がする。人権には固いイメージがあるので、クイズ形式で定着度を測るなど、教職員以外でも興味を持てるようにしてほしい。

## (2)その他の意見

- ・学校が楽しい、自分には良いところがある、学校生活に満足している、このパーセントからはじかれた子供達の人権を守ってくれる事業はあるのか。どのようなことをしてくれるのか。
- ・他の事業費に比べ人件費が大きいと思った。重要な案件で15年間も実施されている割には進歩がないのかなと思った。
- ・資料説明が分かりにくいです。ページごとに進んでほしいです。
- ・とても大事な事業の一つです。専門委員が言っていたように、熱意をもっと見せてほしい。
- ・この活動は100%を目指すべきです。いつやるの。今しかないでしょう。お役所言葉は無難ですが、市民感覚とは離れています。大切なのは守られるべき子供です。
- ・頭を打つ虐待(手足は100歩譲ってよいが)、いじめによる人権侵害、認識の遅れに驚きました。教員の方々に認識してほしいです。
- ・私は県総合運動場の工事により、その騒音、振動、それに対する県の担当と工事担当者の対応の不誠実さによりうつ病になり、今も薬を飲んで過ごしています。県でこういった事業をやっているのであれば、まずは県職員全員に人権教育をすべきである。
- ・子供に教育をすることも大切だが、まずは大人が人権を大切に、県民が幸せに過ごせるあり方を考えるべきである。
- ・学校教育として行う中身としては努力を感じました。
- ・具体的な活動はよく見えるが、成果がよく見えない。

- ・高校では規模が大きく、また時間もとりにくいということだったが、小さいうちからきちんと教えていき、高校で改めて時間を取らなくても、身につけている、心得ているというのが理想ではないか。
- ・小3～小4は年齢的に仲間意識が強まり、その仲間に入らない人は排除するという時期。これは人間だけでなく、動物社会にも見られる現象で、動物の本能なので、全くなくなることはないという。それを頭に置いておいた上での人権の学習教育をしていくことが大切ではないか。
- ・人権問題に関しては、当たり前だと言う考えがありましたが、このような事業を設けていることにまずは驚いた。
- ・自尊感情を育て、高める施策を期待しています。
- ・わがままではなく、自分に自信を持てるようにして下さい。H10 開始事業なので、改革が必要です。
- ・学校格差の発言があったが、俗に言う「良い学校」の生徒が、人権意識がきちんとしているとは限らない。無関心・無興味の裏返しのように思う。
- ・毎年、似たようなことを実施しているように感じた。
- ・私は高校の教師を50年やってきました。その経験から得たことですが、レベルの高い学校ほど人権教育が充実しており、レベルの低い学校では人権教育が特に必要で、その教育は大変な努力を必要とします。
- ・人権感覚を高める一方、自他の価値を感覚とし、相違を認め、受容できる機能を高める。相違とはどういうことですか。
- ・人権教育担当者の研修会は、小・中学校には行わないのですか。
- ・日本の教育は「これは×」という考え方をすると聞きました。否定より提案、肯定から教育をしていけたらいいと思います。
- ・研修会の満足度は高いので、実際に生かしていけたらいい。
- ・行政と民間では、人権教育に対するとらえ方が違うように感じた。
- ・学校の指導者のみならず、行政全体で人権教育を徹底すべき。
- ・人権の問題はとても難しく、学校の先生方も、多くの時間をかけ大変な思いをしているということだったが、それらに対するサポートがされているということは、いじめなどが絶えない現在、不可欠な事業になってくるのではないか。
- ・人権問題のなかで、いじめに対して1番の関心がありました。しかし今回の議論では、いじめに対する改善や取組が少なく残念だった。